

OUJ神奈川学習センター あきだより

通巻第72号

2017年11月30日発行

発行: 放送大学神奈川学習センター

〒232-8510 横浜市南区大岡2-31-1

url: <http://www.sc.ouj.ac.jp/center/kanagawa/>

tel:045-710-1910 fax:045-710-1914



小田原城天守閣(次号に関連記事)

目次

自伝的記憶について 客員教授 福田 幸男	2~3
平成29年度1学期学位記授与式	4~5
平成29年度2学期入学者の集い	5
第31回神奈川学習センター学園祭「フェスタ・ヨコハマ」	6~7
Kーサポートからのお知らせ	7
ゼミ・研究会のご案内	8~9
学生サークルからのお知らせ／神奈川同窓会だより	10~11

神奈川(みなとあらい)



自伝的記憶について

客員教授 福田 幸男

放送大学で面接授業を始めて5年程が経過した。3年前からは客員教授として年2回の授業を担当している。科目名は「記憶と日常生活」としているが、その中で取り上げる内容については毎回少しずつ変更してきている。今回は、最近の授業でよく言及している「自伝的記憶」について取り上げてみたい。

自伝的記憶とは

「自伝的記憶」は、「過去の自己に関わる記憶の総体」と定義づけられる。この定義は、「自己に関わる年表(生活史)」とも受け止められるが、そう単純ではない。心理学では、出来事の記憶を「エピソード記憶」と呼ぶが、「自伝的記憶」を「自己に関わるエピソード記憶の総体」と定義するだけでは不十分である。ウィリアム・ジェームズは、「記憶は、単にある事実の日付をつけるだけでは足りない。それは”私の過去”の中に日付をつけられなければならない」と、記憶と自己とが不可分の関係にあることを指摘している。

これまでの研究によると、60歳以上を対象にした場合、比較的最近のことを一番よく思い出すことはもちろんであるが(新近性効果)、次によく思い出すのは10～30歳の記憶であると報告されている。これをレミニッセンス・バンプと呼び、そのピークが20歳代にあることも知られている。もちろん個人差があり、戦争などを体験した場合には、年齢に関わらず、そこにピークがシフトする。おもしろいことに、たとえば、「匂い」を手がかりとして過去の出来事を思い出してもらおうと、10歳未満にピークがくると言われている。ちなみに、40歳代の人たちには、このレミ

ニッセンス・バンプが生じないとされている。



24年ぶりに訪れたグレートオーシャンロード。
当時のことが次々と思い出された

ニックがなぜ20歳代なのかについては、「出来事の新奇性」、「生物学的観点」、「社会発達の観点」からの説明が試みられているが、どれも決定的なものとはなっていない。時間のある時に、自分の過去を遡ってみてはいかがでしょうか。ちなみに私は昭和24年の生まれで、大学在籍中に、由紀さおりの「夜明けのスキヤット」がヒットしていた。あるきっかけで、この歌を久しぶりに耳にした時、「京浜急行本線南太田駅のプラットホームで、この曲のことを同級生と話題にした場面」がふと思い出された。深夜放送で流れている不思議な歌があるという会話だったと思う。もう40数年前のことであるが、そこから芋づる式に、当時の私を巡る記憶がよみがえった。歌が過去の自分を呼び戻す手がかりとなった不思議な体験であった。ひるがえって、昨日の夕食の記憶すら怪しくなっている今の自分に愕然ともした。映画を見ていても、ふとよみがえる記憶がある。「ALWAYS三丁目の夕日'64」は、東京オリンピック開催年(昭和39年)の東京の下町が舞台

となっている。劇中の一つ一つのシーンが往時を思い出させる手がかりとなり、当時中学3年生の自分をそこに重ねてしまった。まるでタイム・マシンにのって過去に旅した感があった。現在を起点にして、過去の自分にたどりつけることができるのはまさに自伝的記憶のおかげである。考えてみると、自分の現在と過去を行ったり来たりできるのは驚きの術である。ただし、思い出した過去の記憶は、正真正銘の過去の記憶なのかという疑問がわくことがある。

一般に記憶は時間の関数として減衰する。つまり、記憶は時間とともに忘れ去られる。したがって時間が経てば経つほど、忘れる確率が高まる。当時のことを思い出したと言っても、果たしてそれは真実とは言えないこともある。「あなたの記憶の信憑性は」と問われれば、たちどころに自信が揺らぐ。

自伝的記憶を論ずる場合、この信憑性の扱いが通常の記憶とは異なる。時間経過とともに自己は変容し、それに呼応するかのように記憶も変容する可能性がある。過去の自己ではなく、現在の自己に一致する形に記憶が書き換えられることもある。

自伝的記憶に関しては、必ずしも正確な想起を必要としない。これからの人生を生きてゆく上で必要なのは、正確な過去の事実(記憶)の羅列よりも、現在への適応と将来への展望に役立つ記憶なのかもしれない。そのため、不必要と思われる記憶は忘却(時には抑圧)され、望ましい内容へと記憶が変容されることも考えられる。この特徴は、これまでの記憶研究の在り方、すなわち、「記憶がいかにかに正確に想起されるか」が問われ続けてきたこととは一致しない。自伝的記憶は、その正確さが必ずしも必要十分条件では

ない。

日常生活を考えると、忘却は頻繁に起こり、意図せずとも記憶はしばしば変容する。人の記憶のシステムがもともと不完全であるとの現実を受け入れざるをえない。今の自分にとって都合良く過去を変容することは、自伝的記憶には必要なことかもしれない。

最近の授業でよく取り上げる認知症との関係で言えば、自伝的記憶が十分に機能するうちに、自分自身のこれまでを振り返っておきたいと思うようになってきた。「自叙伝」というほど大げさなものではないが、どこかで、過去を振り返る作業をしてみたいと思う。

また、自伝的記憶は必ずしも個人の中に貯蔵された記憶のみで構成されるものではない。他人もまた、「私」に関する記憶を共有している。家族、親族、友人・知人である。各人が保有する「私」に関する記憶が、自伝的記憶を補強し、自分の過去の新たな発見をもたらすことがある。最近とみに多くなったクラス会の集まりで、忘れていた、あるいは忘れたかった自分に出会えるかもしれない。これもまた、大事にしたいものである。



12使徒。崩落した箇所があるとのこと。ただし、その変容に全く気づかず。

平成29年度1学期学位記授与式

9月23日、平成29年度1学期の学位記授与式が、神奈川学習センターにて、開催されました。1学期神奈川学習センターの卒業生は、145名。修了生は、修士課程2名、博士課程1名。このうち、卒業生72名、修了生1名の出席がありました。

式典は、福富所長から、卒業・修了生ひとりひとりに学位記が手渡されました。所長の式辞では、サミュエル・ウルマンの詩「青春」の一節を紹介され、今日を出発の日としてさらに学習を続け教養力を深めていただきたいと話されました。続いて、来賓の佐葉神奈川同窓会長の祝辞。客員の先生方からお祝いの言葉がありました。



そして、1学期で放送大学の全専攻を卒業された古本教子さんの紹介と所長表彰が行われました。

式終了後は、記念写真撮影と同窓会主催による、茶話会が開催され、みなさんひとりひとり卒業の喜びを話されていました。

所長表彰を受けた成績優秀者の近藤久仁子さんと、最高齢卒業生の長尾壮七三さんからご寄稿頂きましたので、全文を掲載いたします。



卒業生代表挨拶 近藤 久仁子

本日は私たち卒業生のために、このような盛大な学位記授与式を挙げてくださりまして、真にありがとうございます。



卒業生一同、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

いつかは大学で学びたいと考えておりましたが、家族の賛成を得て、放送大学に編入学したのは、卒業して20年以上経った2015年でした。

国文学を学び直したいと思っておりまして、人間と文化コースを専攻しました。2年間での卒業を目標に、まずは6科目を履修することから始めました。

ずっしりと重い印刷教材の、分からない箇所には蛍光ペンで線を引いていたら、まっ黄色になってしまったり、書き込みをした付箋でいっぱいになったページもありました。

単位認定試験の過去問題を前に、途方に暮れることもありました。

中でも久しぶりの英文法には大変苦勞し、高校入試用の問題集を買って、やり直しました。

それでも、スマートフォンやタブレット端末で、講義を何度も繰り返し視聴することで、少しずつ理解を深めて行きました。

孤独や不安を感じることもありましたが、面接授業での幅広い年齢層の方々の講義に対する熱意や真摯な姿勢に励まされました。

また、放送大学エキスパートを目標に、科目を履修することで、体系的に学ぶことが出来ました。

「教養はエネルギーだ」の言葉を胸に、これからも自己研鑽に努めますとともに、放送大学で学んだことを活かして、社会に貢献して行きたいと存じます。

最後になりましたが、今までお世話になりました全ての方々に感謝を申し上げます。

放送大学の更なる発展と、本日までご出席の全ての皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、ご挨拶にかえさせていただきます。

卒業生挨拶

長尾 壮七

卒業生の皆様、おめでとうございます。そして大学の皆様、ありがとうございます。お蔭様でこのたび無事卒業することができました。

実は3月の時点で1単位足らずになっておりましたが、努力足らずでここまでできてしまいました。恐らく今日の卒業生のなかでは小生が最年長かと思えます。(87歳)。それに実は3回目の卒業なのです。何の為に大学に籍を置いたのかとお思いでしょうが、はじめは大学卒の資格を得る為でした。昔の専門学校の卒業生は学校名を冠した学士で、日本国共通の学士号ではありませんでした。仕事はそれで間にあったのですが、その後、同じ学校を出たものが正式の学士号を得ることになりました。たしかに、専門学校は大学に昇格しましたから当然のことですが、何かしっくりいかない思いは残っていました。それで、在職中に放送大学に入学し平成12年3月に「人間の探究専攻」を終えて初めて学士の称号を得ることができました。それまでは理系の学問だけをしていたので、文系の学問をしたいと考えたからです。それが最初の放



送大学の卒業でした。その後、こんな形で好きな方向の勉強ができるのを知って、平成17年「福祉専攻」の課程を卒業し、2度目の学士号を頂き、そして今回は平成29年「自然と環境」コースを終えて3度目の卒業となったわけです。その度毎に卒業までの時間が長くなりました。それは老化とやる気の問題でした。

こんなに時間をかけて何のためにはと思いますが、一言で申せば、面白いからです。最初は人並みでしたが、2回、3回目は真の意味で自分の教養の為でした。残り少ない人生を楽しく生きたいと思ったからです。

趣味は以前から俳句です。俳句は文字で表現するInstagramと思いますから、それにプラスになる文系の教養、あとは世界のことで。そのための理系、文系、心理系の教養をだいぶ学びました。また面接授業も有意義でした。若い先生方の個性あるお話を直接お聞きできたのも見逃せない時間でした。



平成29年度2学期入学者の集い

10月8日神奈川学習センターにて、平成29年度2学期「入学者の集い」が開催されました。神奈川学習センターの入学者は、学部生1,015名、大学院生112名。会場には、このうち学部生163名、院生3名が集いました。



福富所長の式辞では、放送大学の学びは、知識や体系的な学問の修得が目標となり、修得には、主体的学びが必要。通信制は、自分のペースで学習できるのはメリットがあるが、壁にあたったとき突破するのが難しい。その手助けになるのが学習センターで、面接授業や先輩学生による学習支援、サークル活動等がある。放送大学で身につけ

る知の力が、新たな気づきをもたらすと思う。充実した学びをしていただき入学した目標を果たしてほしい。結びました。

式辞に続き、来賓の佐栞同窓会長の祝辞、客員教授の先生方からお祝いの言葉があり、学習センター利用の説明等のオリエンテーション、そしてK-サポートやサークル等のPRへ続けました。





第31回神奈川学習センター学園祭
「フェスタ・ヨコハマ」 9/2～9/3



9月2日と3日の2日間にわたり、放送大学神奈川学習センターの学園祭にあたる、「フェスタ・ヨコハマ」が、神奈川学習センターの各講義室を使い開催されました。

3日は、今年4月、所長に就任された福富洋志先生の記念講演「強力材料の開発のルーツ:日本刀とジュラルミン」を中心行事として、交歓親睦パーティ、模擬店、マジック、ジャズライブ、俳句川柳大会、抽選会が行われました。また、初日の2日には、大岡寄席として、春風亭正太郎さんの落語、おしどりマコ&ケンさんの漫才、映画鑑賞会、ダンスパーティ、アトラクション、及び同窓会のホームカミングデーが行われ、両日通して、作品展示とお茶席が催されました。

フェスタ・ヨコハマお茶席に参加して 秋山 岳子

9月2日、3日、フェスタ・ヨコハマが開かれ、幸運にも茶会に招かれました。会場に入りますと、教室がすっかり茶室にしつらえられていました。お軸、お花は季節に合ったわびた草花が活けてありました。立礼式でお道具が整えられて居りました。

席に案内され、静かに待って居りますと、御亭主(茶道の先生、家田禮様)が現れ、ご挨拶をいただきました。掛物の経緯やお花の説明とお点前の生徒さんの紹介がありました。茶会をひらく事は御亭主の人知れぬ御苦勞があります。季節に合った取りあわ

せ、掛物からお花、お道具、お菓子に到るまで統一して調和される。これは、御亭主が御客様に対する「まごころ」です。

お点前が始まり、“お菓子をどうぞ”とお点前の方の言葉に菓子が運ばれ、正客様に茶が運ばれますと、皆お菓子を口に入れました。陰出しが始まり次々と茶が運ばれました。その御服加減は良く、おいしく頂きました。日々、世事に追われている中に、この静寂な時間、精神のやすらぎはと、しばらく静寂の境地を楽しむ事が出来ました。

次々と運ばれる茶、会員の皆様方の以心伝心、しとやかな立ち振る舞いは美しく、和敬清寂、なごやかに、つつしみ深く、御稽古にはげまれた御姿を拝見しました。会場を後にしても、この静寂さは、心を豊かに包んでくれました。“日本人で良かったな”と思った瞬間でございました。

茶は、中国から仏教と共に日本に入ってきたのが奈良時代。行基、最澄らが種を持ち帰り比叡山の麓の坂本に蒔いたのが栽培の最初です。喫茶が一般に普及したのは鎌倉時代です。抹茶を喫するもの、この簡単な飲み物を一服するために精神的な審美なものに高めたものが茶道です。



Kーサポートからのお知らせ

○学習相談チーム

平成29年度2学期の学習相談は、12月17日までの土曜日と日曜日、午後1時から午後3時50分の間、2階談話室の相談コーナーで行います。

※予約は不要です。

放送大学での学習に関して困っている点に限らせていただきますが、まずは気軽に何でも相談にきてください。

OUJ神奈川学習センターだより編集部

家田、伊藤、入江、遠田、笠井、吉川、木下、宮崎、三国
(50音順、以上、Kーサポート機関紙編集チーム)
垣谷(Kーサポート事務局)
荒川(学習センター事務局)

○パソコンサポートチーム

パソコン初心者塾

・12月5日(火)13:00~15:30

「Word&Excel超入門」

・2月17日(土)13:00~15:30

「科目登録の提出」

※参加・サポートを受けるには、申し込みが必要です。学習センター1階ロビーKーサポート掲示板下に、用紙とポストがありますので、ご利用ください。

上記日程(定期塾)のほか、日程を調整して個別対応(不定期塾)もいたします。(定期塾受講のときにご相談ください。)

○平成29年度神奈川学習センター開講ゼミ・研究会一覧

①客員教授開講ゼミ

教員	ゼミ名	活動内容	開催曜日	開催日(予定含)	申込先・連絡先
有馬 眞	地球科学ゼミ	神奈川県には、箱根火山、丹沢山地、三浦半島など、変化に富んだ地形と多様な地質で構成される多くの地域があります。地球科学ゼミは、月1回(原則第3火曜日)、これらの地形・地質を対象に野外見学会(巡検)を開催しております。初めての方々も参加できるやさしい内容としていねいな解説の見学会を開催するよう努めています。	原則月1回	4/4、5/16、6/20、9/20、10/18、11/21	arima@ynu.ac.jp
上川 孝夫	上川ゼミ	上川ゼミでは、金融や国際金融を中心に、世界経済や経済学について学びます。一見難しそうなお勉強ですが、外国為替やマーケットの話など、基礎から学びます。ドルや欧州単一通貨ユーロ、円や人民元など、話題性の高いテーマについても取り上げます。また、日本銀行や東京証券取引所の見学なども予定しています。		4/15、5/20、6/24、7/15、8/19、9/16、10/12、11/25、12/16、1/13、2/17、3/17	kamikawa@ynu.ac.jp
杉田 正樹	哲学カフェ	「哲学カフェ」をやっています。参加者からその都度問題を出してもらい、それらについてみんなで議論するというものです。調べれば分かるような問題や、専門的な問題ではなく、身近なところで日頃不思議だと思っていることを論じます。人の話をよく聴くこと、よく考えることが条件です。黙っていることももちろんOKです。	原則第4土曜日	4/22、6/29、9/30、8/4、10/28	msugita@kanto-gakuin.ac.jp
角 洋一	角ゼミ	テーマ: 寺田寅彦の随筆を読む - 自然現象と災害、海の自然、科学と人間そして社会 - 【内容】2017年度の角ゼミでは、小職の担当面接授業「建造物の強度と安全性」にも関係するテーマとして、明治・大正期を代表する物理学者・随筆家である寺田寅彦の随筆を読むことを企画しました。彼の随筆で取り上げられる力学と自然災害、大学と教育などのテーマは、現代に生きる我々も熟考すべき普遍的課題でしょう。		4/6、5/18、6/15、8/3、9/7、10/12、11/9、12/14、1/11、2/15、3/15	sumi@ynu.ac.jp
種田 保穂	種田ゼミ	学習センター内の定期のゼミでは動物学に関する様々な面白い話を紹介しています。そのほか不定期に探鳥会を行ったり、磯の動物の観察会を行っています。博物館、水族館、動物園などにも出かけて行きたいと思います。また、年に一回は合宿のゼミを行いたいと思います。		4/19、5/17、6/21、8/13、9/5、10/17・18、11/28	taneda-yasuho-pj@ynu.ac.jp
茂木 一衛	茂木ゼミ	中世ヨーロッパのクラシック音楽の歴史を辿り、その時代に生きた作曲家の曲などを「器楽と声楽」のアンサンブルでハーモニーを勉強している。 ・ゼミ; 毎月2回 14:00~16:00 神奈川学習SC 第8講義室 ・練習曲 バッハのコラール:「Ich bins, Ich sollte buessen」 モーツアルト:「Ave verum corpus」 シューベルト:「Kyrie」など	原則月2回	【所内】4/2、4/9、5/12、6/30、7/14、8/4、8/27、9/8、10/1、11/12、11/26、2/4、2/18、3/11、3/18 【所外】6/18、9/24、10/29、12/2	shinichi-36820-baba@extra.ocn.ne.jp
②元客員教授開講ゼミ					
教員	ゼミ名	ゼミ活動内容	開催曜日	開催日(予定含)	申込先・連絡先
浅野 幸弘	浅野ゼミ	経済・金融・証券の分野で興味深かつ重要と思われる本を取り上げて輪読します。毎回担当者が本の内容をまとめて報告、質問などがあれば教員が補足説明し、その後、報告をベースに参加者全員で議論します。2017年度前期は河村小百合『中央銀行は持ちこたえられるか』を使用しました。	原則第2木曜日	4/13、5/11、6/8、7/13、8/17、9/14、10/12、11/9、12/14、1/11、2/8、3/8	asano-yukihito-rc@ynu.ac.jp

影井 清一郎	科学の散歩道研究会	身近な物理・生命・社会等の現象を数学・物理学・工学(コンピューター)の切口で自由闊達に議論し、結果を踏まえて自らの学びに取り入れられます。9月からは放送大学の物理・化学系科目が難しく感じられた方へ「量子論に至る道しるべ」と題して、高校数学の復習から始め、量子論を理解するための道しるべを始めました。奮ってご参加ください。	原則第3土曜日	4/22、5/20、6/17、9/16、10/21	kagei@ynu.ac.jp
遠山 紘司	遠山ゼミ	ものごとをまとめる力、発表する力そして討論する力を身に付けることを目的としたゼミです。ゼミ担当者は自分が興味ある問題を探し、解決するまでの過程を考えて発表します。その後、全員で問題の捉え方、解決策について討論します。ゼミの担当は1年に1回程度です。	原則月1回(第3又は第4木曜日)	4/20、5/18、6/22、8/23、9/28、10/17、18、10/19	kmymt@olive.ocn.ne.jp
藤原 一繪	植生研究会	主な活動は観察会と報告会です。観察会では、藤原先生より植物の見分け方、特徴の解説、植物に関する指導などを受けることができます。また、報告会では観察会後のまとめ方などを実践的に学ぶことができます。教養学部「自然と環境コース」の植物や環境に関する科目に興味がある方や、卒業研究を目指す方にお勧めです。	原則第2木曜日	4/20、5/18、7/6、9/14、10/12、11/9、12/14、1/11、2/8、3/8	syokusei@yakatsu.org

③元放送大学教員開講研究会

教員(顧問)	研究会名	活動内容	開催曜日	開催日(予定含)	申込先・連絡先
柏倉 康夫	三無会	「三無会」は放送大学情報学の修士修了生を中心に、現在の情報のあり方や、コミュニケーションの現状を研究する会です。年1回機関誌(審査付き)を発刊。投稿を受け付けています。6月10日総会・研究発表は「日本語ワープロ黎明期におけるキーボードアレルギーの発症」「テキストマイニングで探る量子通信技術」でした。	不定期開催	6/10	miyako.f71417@jcom.zaq.ne.jp

④元放送大学神奈川学習センター非常勤講師開講ゼミ

教員(顧問)	研究会名	活動内容	開催曜日	開催日(予定含)	申込先・連絡先
高橋 和子	しなやカラダ	会員個々の健康寿命を平均寿命に限りなく近づける為の学習から「しなやか」に実践をすることで生活習慣病対策に寄与し、相互の親睦をはかり学生生活を向上させて継続する。	原則月1回水曜日	6/28	1210132280@campus.ouj.ac.jp

⑤放送大学神奈川学習センター開講研究会

世話人	研究会名	活動内容	開催曜日	開催日(予定含)	申込先・連絡先
田口 一博	放送大学ガバナンス研究会	政治学の天川晃ゼミを母体に発足し、会員数約百人。毎月の研究会では会員の研究報告と原書講読(現在Lane”STATE MANAGEMENT”・稲継裕昭訳『政府経営論』)のほか、研究者をお招きしての報告の模範演技=9月研究会では天川先生の遺作『戦後自治制度の形成』をめぐる村松岐夫・雨宮昭一両先生の放談会=を行いました。	原則第3土曜日	4/15、6/11、7/1、9/16、11/26 【所外】5/20	jkaz5529@gmail.com

学生サークルからのお知らせ

○韓国語同好会

★月例会 第2、第4土曜日

- ① 10:00～11:30 初級クラス
- ② 11:30～12:00 ミーティング(全員)
- ③ 12:00～13:30 中級クラス
- ④ 13:45～14:45 自主学習(「ソナギ(にわか雨)」読書会)

★講師 李明淑(イ・ミョンス)先生

★行事:11月13、14日、韓国放送通信大学と名古屋で交流会を実施。

★問い合わせ 神奈川サークル協議会のホームページからどうぞ。

<http://kcc-ouj.net/dantai/hanguo/>

(代表:斎藤)

○放大かながわレク・サークル

★サークル活動:放送大学生との「仲間作り」とウォーキング等の「健康づくり」

★例会:2ヶ月に1回(含、映画鑑賞会)

★ウォーキング:2ヶ月に1回、「東海道五十三次」実施中。名所旧跡文化施設等も対象。

★その他観劇、観光、映画、美術鑑賞等。

上記の各種活動はいずれも自由参加。

—会員募集中(随時申込・受付)—

問合せ:島田 義治 Tel 090-3907-8384

E-mail simada.yosiharu@coral.plala.or.jp

○中国語学習会

*学習日:毎月第1、第3日曜日(原則)

▲中級クラス 10時より 告旭平先生、前半は「本気で学ぶ中級中国語」(趙玲華著)を教材に、文法理解、表現力を高めます。後半は各自の話題提供による自由会話。

▲初級クラス 13時より 李春霞先生、「NHKまいにち中国語」2017年度4～9月号(予備あり)、全くゼロからのスタートでも楽しく学べます。どのクラスでもすべて参加できます。

*お問い合わせ e-mail:snuf.708w@ezweb.ne.jp

tel.080-3552-2497 和田

○ダンスサークル(社交ダンス)

場所:神奈川学習センター第7講義室

曜日:第2・第4火曜日 *第1・第3火曜日自主練習

時間:午後2時～4時 講師:菊島弘明・ユリ子

会費:1か月 1500円

活動内容:社交ダンス(モダン、ラテン)の学習(ダンスパーティーで踊れるレベルに)

ダンスはスポーツです。健康増進(特に、姿勢が良くなる)、ストレス解消に、楽しく踊りませんか!! 人生がより明るくなります。不定期ですが、1泊での実習旅行も実施しています。初めての方も楽しく踊っています(初心者、歓迎!)

また、全科履修生の方は30時間のレッスンで、体育実技1単位を取得できます。

連絡先:印南英敏 E-mail:in-nami@oboe.ocn.ne.jp

○うえるかむKanagawa

私たちは英語を楽しみながら学んでいるサークルです。

☆例会は毎月第2、第4水曜日です。(試験月等は変更があります。)

*Benny Class(3クラス) 10:15～12:30

*English songs 13:15～13:30

*Group study 13:30～15:30

☆そのほか暑気払い、うえるかむ名画座、ゲスト講演会などを開催しています。

問い合わせ 片野真明 090-4714-8260

○人間学研究会

☆毎月の例会で会員が卒業研究、旅行経験等を発表
例会予定:神奈川学習センター 於

12月2日(土)13:00～「オイルと健康」忘年会

1月 がん研究者山極博士の伝記映画「うさぎ追いし」のDVD鑑賞予定

☆会員寄稿の会誌「せせらぎ」を毎年発行。今年は28号を発行

☆散策・植物園美術館巡り等の行事、例会後懇親会もあります。

会員募集中

お問い合わせ:

小林鋭子 E-mail: d52n66su_yoof@ybb.ne.jp

佐藤義春 E-mail: yoshi.l.chie@yd6.so-net.ne.jp

○神奈川合唱団

♪♪♪ 皆さん合唱団と一緒に

楽しく歌って見ませんか ♪♪♪

毎年3月の学位記授与式(NHKホール)で合唱団の皆さんと一緒に「学歌」を歌い卒業生・修了生をお祝いしております。来春の入学者の集いでは「学歌」と「春」「春の小川」「春の日の花と輝く」を歌います。今年から合唱指導の専門家を招き、ボイストレーニング・合唱練習に取り組んでおります。

☆場所:大岡地区センター音楽室(2F)

☆日時:毎月第1・第3水曜日18:00~20:30

☆お申込み・問合せ

馬場信一 shinichi-36820-baba@extra.ocn.ne.jp

○神奈川放友会

豊かで実りある学生生活を共有することを目的に、「学び」と「触れ合い」を柱とする幅広い活動を展開し、140余名の会員から高い支持を得ているサークルです。

☆学びの場の活動

○会員投稿企画「私の行った所、思い出の場所」を連載中

○パソコン勉強会「スマートフォンとは何か」11月8日(水)第5講義室

☆触れ合いの場の活動

○旅に行こう会「貸切バスで紅葉の龍門の滝他を訪ねる旅」11月15日(水)

○忘年会:12月10日(日) 於:横浜パセラリゾート関内店

☆毎月の活動:俳句の会、書に遊ぶ会、女性の会、詩游会他

詳しくはWebで、<http://kanagawa-hoyukai.jp>

入会申込・問い合わせ先:

山崎正之 info@kanagawa-hoyukai.jp

○スペイン語研究会

今年8月創設。主な活動は、月2回の例会、前半講師による日常会話習得、後半会員持ち回りの研究発表。テーマはスペイン語圏の歴史、文化、音楽、スポーツ、観光、旅行、料理等なんでも可。その他、千葉学習センターなど他センターとの交流、近い将来、マチュペピチュ、イグアスの滝など研修旅行も計画中。世界4億人が話すスペイン語と歴史・文化と一緒に学びませんか。初心者大歓迎。

連絡先:会長 肥後 照雄

電話:080-2049-3523

メールアドレス:t_higo@cb3.so-ne.tne.jp

○資格取得研究会

看護・福祉分野のキャリアアップや進学・就職を目指す集まりです。各種資格(心理系含む)放送大卒業を目的とする方が多い。内容は、情報交換が中心。

これからの例会予定

・12月24日(日)10:00~神奈川学習センター部屋未定

・1月14日(日)10:00~神奈川学習センター第1講義室

会費:¥500(1年間)

ホームページ…<http://shikaku.yumesora.net>

お問い合わせ…080-5546-7913(はこぎき)

神奈川同窓会だより

☆“行くところがある・会う人がいる”

そこは同窓会“弘明寺サロン”です

☆11月10日(金)秋の行事 二つの工場見学

☆11月11日(土)13:30~「高橋知成氏」講演
演題:「サクッと肢体不自由者の余暇外出と自尊感情との関係について」

☆12月9日(土)14:00~16:00サロン

「角 洋一 客員教授」による講演会

演題:「東京湾、海難への備え、船の文化」

その後「忘年会」を予定。多数参加ください。

HP:→<http://hatoh.net/>

お問い合わせ…045-333-4426 金田 保男

次号予告

OUJ神奈川学習センターふゆだより平成30年1月下旬発行予定。

主な記事

・平成29年度学生研修旅行

・神奈川学習センターウォーキング

・面接授業「銀河天文学」

ほか



投稿募集

学習センターだよりでは、

みなさまの投稿をお待ちしてい

ます。分野は問いませんが、放送大学の学生にとって興味のもてる話題が好ましいです。ご投稿いただいてから、掲載時期や掲載方法についてご相談させていただきますのでご了承ください。

宛先は、電子メール:ksupport@ouj.ac.jp

(K-サポート事務局)

または、神奈川学習センター事務室まで。

